



江戸時代からの伝統を今に

越ヶ谷秋まつり 4年ぶりに開催



前回 (平成24年) の様子

10月8日(土)・9日(日)に、越ヶ谷秋まつりが開催されます。越ヶ谷秋まつりは、旧越ヶ谷町で行われてきた五穀豊穡を祝う山車祭り、江戸時代中期の元禄時代(1688年〜1704年)から300年以上にわたって伝えられてきました。近年では数年おきに開催されており、今回は平成24年以来、4年ぶりに行われます。旧日光街道を巡る大行列や山車など、見どころ豊富な越ヶ谷秋まつりをご紹介します。

江戸時代から連続と続く 旧越ヶ谷町のまつり

越ヶ谷秋まつりは2日間にかけて行われ、久伊豆神社から神様がお出ましになる「神輿渡御」が始まります。渡御は300人以上の大行列となり、まつりの幹事役である「年番」の人々が先導、続いて古式ゆかしい烏帽子姿の神官や、袴姿の旦那衆、巫女の衣装に身を包んだ子どもたちなどが、厳かに進んでいきます。

神輿が元荒川に架かる宮前橋を渡り、旧日光街道へ入ると、街道沿いにある8カ町(本町一〜三丁目、中町、新石一〜三丁目、弥生町の各自治会)の8台の山車が出迎えます。ここからは山車も行列に加わり、お囃子の笛や太鼓の音、市の無形民俗文化財に指定されている「越ヶ谷の木遣歌」などに乗せ、旧日光街道や越ヶ谷駅前を巡ります。

各町内自慢の山車に注目

越ヶ谷秋まつりでは、神輿渡御・還御のほかにも、2日間で計4回、山車の曳き回しが行われます。各町内の氏子が揃いの半纏を身にまとい、重厚で威厳のある作りの山車を引く姿には目を奪われます。

山車はそれぞれ異なるデザインが施されているほか、最上部には各町内を象徴する人形が飾られ、山車の迫力をさらに引き立てています。山車の曳き回しは夜も行われ、2日間にわたる越ヶ谷のまちはまつり一色となります。

江戸時代の越ヶ谷の文化を今に伝える越ヶ谷秋まつり。ぜひ一度ご覧ください。



越ヶ谷の新たな玄関口、越ヶ谷ツインシティの前に山車が停車する



先頭で山車を曳くのは、未来の秋まつりを担う子どもたち

行列を華やかに彩る稚児巫女の行列。今回は20人以上が参加する予定



旧日光街道に到着した神輿。まつりの見どころの一つで、多くの見物客が集まる

誰もが楽しめる秋まつりの 定期開催を目指して



越ヶ谷秋まつり実行委員会
本町三丁目青年会長
篠田 茂雄 さん

越ヶ谷秋まつりは、前回から実行委員会を組織し、8カ町全体で協力してまつりを企画・運営しています。時代が変わり、各町内の住民が減少・高齢化してきたことで、まつりの存続自体も危ぶまれてきました。ですが、300年以上続いてきた伝統を守り、今後も定期的に開催していきたいとの思いから、実行委員会が中心となって解決方法を模索しています。

大切なのは、まつりを市内外の多くの方に知っていただくこと、それから、まつりが8カ町だけでなく広く開かれたものとなることだと考えています。今回も前回に続き、中央中学校吹奏楽部のパレードが行われます。地域の方に参加していただけることは、とてもありがたいことです。

今後も皆さんに楽しんでもらえるようなまつりを目指していきます。子どものときにまつりに来たことが楽しい思い出となり、大人になっても参加し続けてくれるようになるとうれしいですね。

越ヶ谷秋まつりスケジュール

8日(土)	神輿渡御
	10:30 久伊豆神社出発
	11:10ごろ 大沢橋近くで山車を迎えられ、町内に出発
	15:10ごろ 御仮舎に到着
山車曳き回し 16:00~18:10、19:00~21:10	
9日(日)	神輿還御
	13:30 御仮舎から山車を従え、町内に出発
	17:00 久伊豆神社に到着
	山車曳き回し 10:30~12:40、19:00~21:10

- * 曳き回し中の山車は危険ですので、あまり近づいたりせず、関係者の指示に従ってください
- * 人混みに自転車を乗り入れるのは危険です。離れたところに駐輪してください

交通規制が行われます

